

新基地建設反対名護共同センターニュース

県民投票を全市町村で成功させ、衆院補選、参院選勝利で安倍政権打倒を！

琉球舞踊、三線、棒術などが披露され、土砂の投入を止めさせ、新基地建設を阻止するために「翁長前知事の意思を受け継ぎ、玉城知事支えて団結頑張り」と誓いを新たにしました。

2019年元旦。辺野古の浜では300人余が参加し、「初興し」(はちうくし)が行われました。天気予報は雨でしたが、雲の隙間から太陽が顔を出し、初日の出を拝むことができました。



明けましておめでとうございませう
今年こそ「辺野古」をストツプさせる年に

初のゲート前県民大行動に1000人参加 ハワイのロバート・梶原さんとエールの交換



今年初の辺野古ゲート前県民大行動が5日開かれ、1000人を超える県民が結集しました。ハワイ在住の県系4世のロバート・梶原さん(作曲家)とインターネット中継でエールを交換(写真左)し、アイルランド在住の県系人も発言するなど辺野古の世界的な運動の広がりを実感する集会となりました。オール沖縄の高良鉄美・稲嶺進両共同代表、国会・県議員、衆院3区補選の屋良朝博予定候補があいさつ。「今年こそ辺野古新基地を決定する年に!」、「県民投票を成功させ、衆院3区補選、参院選でオール沖縄の勝利で安倍政権を退陣させよう!」、「絶対あきらめない。勝利するまでたたかおう」と誓いました。

“投票権を奪わないで!” 宜野湾市で会発足

県民投票実施を求め じのーんちゅの会結成

辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票を宜野湾市で実施しないと表明している問題で5日、市民有志は「県民投票を実現するじのーんちゅ(宜野湾市民)の会」を結成しました。共同代表には新垣、宮城両県議、共産党の知念元市議らが就任。同会では今後、投票実現に向けた活動や、実現できなかった場合の対応も検討する方針です。

県民投票不参加は違憲

首都大学・木村草太教授

首都大学東京の木村草太教授(憲法学者)は7日の沖縄タイムスに緊急寄稿し、県民投票不参加の「一番の問題は憲法14条1項の『法の下の平等』に反し違憲」と指摘し、市町村長と各議員に、「県民の権利を実現する憲法上の義務も考えてほしい」と提言しています。

